

週間感染症情報

2017年29週・30週 2017年7月17日より2017年7月30日まで

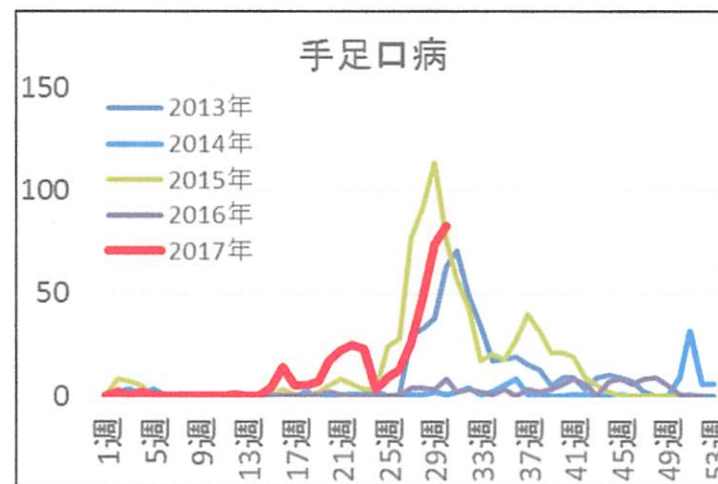
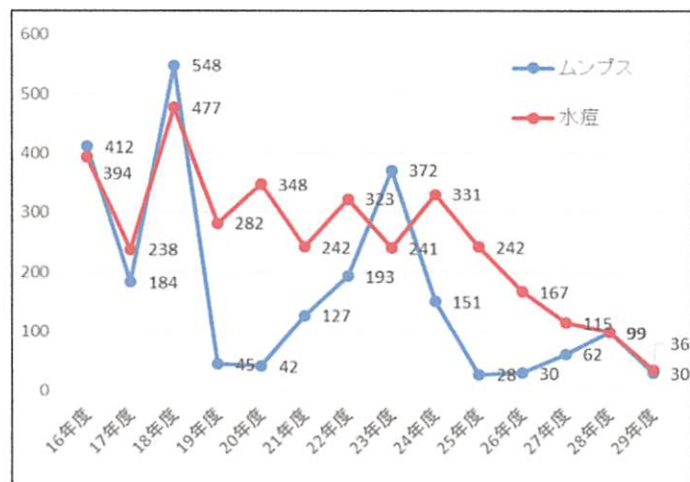
	29週	30週
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	3
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	17	9
手足口病	74	83
ヘルパンギーナ	18	17
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	22	37
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	3	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	20	34
ヘルペス性口内炎	1	
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		
A+B		

遅くなりましたが、29週と30週の2週間分の報告です。

29週の水痘は市内中学2年生で妹(小学生)が今週受診しました。兄妹はワクチン未接種でした。30週の症例は、倉敷市内の中学生1年と、総社市内の中学生と小学生の姉弟例で、3例とも1回接種で軽症でした。水痘ワクチンが定期接種となり報告数は減少しましたが、小中学生やワクチン1回接種者の報告が増えています。

手足口病の全国的な流行が報道されています。患者には接触せずに予防に心がけるように呼びかけていましたが、保育園など乳幼児の集団での感染予防は困難です。みんながり患して免疫をつけて流行が終息するという感じです。右下のグラフの様に29週は74例、30週は83例と報告数が増えています。そろそろピークになり数週で流行は終息するのではと予想しています。1週間明けて2回罹患例もあり複数のウイルスが流行しているようです。

また、溶連菌感染症との合併例や、発疹をかき壊して伝染性膿痂疹になる症例も多いです。伝染性膿痂疹は、セフェム剤の効きにくいMRSAの症例が増えています。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)